

岩沼市民会館
いわぬま
サロンコンサート
2019
百華繚乱
HYAKKA RYORAN
シリーズ

特別企画

岩沼市民音楽家と ハナミズキ室内合奏団 との共演

令和2年2月2日(日)

開場 13:30

開演 14:00

関野由美子
箏

小野綾子
ソプラノ

小川有紀子
ヴァイオリン

平松典子
ヴァイオリン

山中保人
ヴァイオラ

永富さおり
チェロ

井上直樹
トランペット

三崎屋義知
コントラバス

会場

岩沼市民会館 大ホール

〒989-2427

宮城県岩沼市里の杜1-2-45

※岩沼駅から車で5分、バス10分、徒歩20分

入場料 (全席自由)

一般 2,000円

学生 1,000円 (高校生以下)

※未就学児のご入場はお断り致します。

プレイガイド

【仙台市】

- ・藤崎 022-261-5111
- ・ヤマハミュージック仙台店 022-227-8512
- ・東京エレクトロンホール宮城 022-225-8641

【その他】

- ・ローソンチケット 0570-084-002 Lコード:21683
- ・チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999 Pコード:168-158
- ・イープラス <https://eplus.jp/>

【岩沼市】

- ・岩沼市民会館 0223-23-3450
- ・岡文 0223-22-2021

《主催》岩沼市、岩沼市民会館文化事業協会、(公財)宮城県文化振興財団、TBC東北放送
《お問い合わせ》岩沼市民会館 TEL.0223-23-3450 FAX.0223-23-3451

♪ヘンデル

神々しい光の永遠の源よ <アン女王の誕生日のための頌歌>
愛と運命 オペラ<パルテノペ>より
神によって選ばれた天の使者よ オペラ<時と真実の勝利>より

♪アンダーソン

ピチカートポルカ

♪ヴィヴァルディ

四季 冬より

♪宮城道雄

春の海

♪ヘンデル

大天使セラフィム輝やけり オラトリオ<サムソン>より

～休憩～

♪バッハ

チェンバロ協奏曲第3番より 第一楽章

♪モーツァルト

彼女を愛そう オペラ<羊飼いの王様>より
黒人霊歌 Deep River

♪宮田耕八朗

海の青さに
北風のとき

♪なかにしあかね

星野富弘の詩による歌曲集
「ひとつの花が咲くように」より 悲しみの意味
「二番目に言いたいこと」より 今日ひとつ

岩沼市民音楽家プロフィール

関野 由美子 <箏>

東京都出身。4歳より生田流箏曲宮城会大島博子に師事。1999年、NHK FM「邦楽百番」に出演。2002年、仙台にて「関野由美子 箏・三絃リサイタル」を開催。2004・2005、東京・金沢にて「ウィーンズリステントリオ」と、2009年に「ウィーンヴィルトゥオーゼン」と仙台公演で共演。2006年、仙台在住邦楽演奏家たちと呼び掛け「箏・尺八アンサンブル 杜に吹く風」を結成。2019年までに5回のコンサートを開催。2015年、一般社団法人 日本伝統文化振興協会発足。協会主催事業「和ごころみらいコンサートvol.1春のいぶき」(宮城野区文化センター)、翌2016年岩沼市主催「和ごころみらいコンサートin岩沼(vol.2)」(岩沼市民会館)に出演。現在、現代作曲家の作品のレコーディング参加や学校公演、講師等、東京と仙台で活動中。

岩沼市にて「おこと・三絃教室」主宰。岩沼市立玉浦中学校他、箏曲指導。生田流箏曲宮城社 大師範。仙台三曲協会会員。宮城県芸術協会会員。箏・尺八アンサンブル 杜に吹く風 主宰。

(一社)日本伝統文化振興協会 副理事長

小野 綾子 <ソプラノ>

宮城学院女子大学音楽科声楽専攻卒業。イタリア・ミラノ市立音楽院・バロック声楽科修士課程を首席で卒業。イタリア・ヴィンチ国際バロックコンクール ソロ、アンサンブル部門共に第一位(2018年)これまでにミラノ国際博覧会、芸術音楽祭、ローマ・バロックフェスティバル、またミラノ大聖堂にてソリスト、アンサンブルメンバーとして出演。ジャンル・カ・カプアーノ指揮「カント・デイ・オルフェオ」演奏会にも度々出演する他、スイス・フリブール、バーゼル等での演奏会でも多数出演。2019年にはスイス・ニコラ大聖堂にてソリストとしてレコーディングに参加。その他、ポーランド・レギョーンボ、バロックオーケストラとの共演。また、ベートーヴェン「交響曲第九番」ヘンデル「メサイア」等にて、ソプラノソリストとして仙台フィルハーモニー管弦楽団と共演。これまでに声楽を布田庸子、辻裕久、ロベルト・バルコーニ各氏に師事。室内楽をなかにしあかね、ロレンツォ・ギエルミ、マウラ・ガラッシ各氏に師事。アンサンブル「Il Merlo」「la passacaglia」「Stella」各メンバー。ヘンデル・フェスティバル・ジャパン(HFJ)専属室内合唱団員。岩沼みんなで歌う第九の会、岩沼童謡クラブ指導者。混声合唱団vinculum、いわぬま児童合唱団ヴォイストレーナー。

ハナミズキ室内合奏団プロフィール

小川 有紀子 <ヴァイオリン>

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学、英国王立音楽院大学院をいずれも首席卒業。第36回全日本学生音楽コンクール中学校の部1位。第58回日本音楽コンクール入選。第1回東京現代音楽祭室内楽コンクール第1位、併せて第1回朝日現代音楽賞受賞。第7回東京国際音楽コンクール室内楽部門第2位、併せてルフトハンザ賞を受賞。第28回ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクール入賞。東儀幸、矢嶋佳子、日高毅、澤和樹、ジョルジュ・バウク各氏に師事。

仙台フィルハーモニー管弦楽団2ndVn副首席。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。2008年～2016年まで東京藝術大学非常勤講師を務めた。常盤木学園高等学校非常勤講師。

仙台ヴァイオリンセミナー主宰。ハナミズキ室内合奏団主宰。ハナミズキ音楽事務所代表。

平松 典子 <ヴァイオリン>

仙台市出身。4歳よりヴァイオリンを始める。京都市立堀川高校音楽科を経て桐朋学園大学演奏学科卒業。

ヴァイオリンを庄司恵子・立田あづさ・(故)久保田良作・菊池恭江の各氏に師事。

ヤマハフレッシュコンサートにてリサイタルを開催。仙台フィルハーモニー管弦楽団山形交響楽団をはじめ首都圏のオーケストラの客演演奏者を務める。また、さまざまな室内楽コンサートなどにも招かれ多くの演奏家とも共演している。

東日本大震災復興支援コンサートや学校・病院でのコンサートなど、仙台・山形を中心に東北に根差した音楽活動を積極的に行うほか、後進の指導も行っている。

宮城県芸術協会会員、同協会主催音楽コンクールヴァイオリン部門審査員、アトリエミュー・ミュージックスクール講師、ハナミズキ室内合奏団メンバー。

山中 保人 <ヴィオラ>

川崎市生まれ。国立音楽大学附属音楽高等学校卒業後、渡欧、ウィーン国立音楽大学入学。

在学中、PMF2005他、様々な音楽祭に参加。最優秀の成績で卒業後、同大学院、ブルクナーオーケストラの契約団員を経て、2010年～2014年、ニーダーバイエルン州立劇場2014年～2017年、レーゲンスブルク歌劇場にて活動。2018年、山形交響楽団、首席奏者に就任。

これまでに、ヴァイオリンを 吉村邦子、大関博明、ヴィオラを 坪井俊彦、ゲオルグ・ハーマン、ヨハネス・フリーダー、ジークフリート・フェーリンガー室内楽を ベーター・マツカ、ヨハネス・マイスル、ベーター・シューマイヤーの各氏に師事。

井上 直樹 <トランペット>

1969年東京都出身。日大鶴ヶ丘高校音楽科を経て日大芸術学部音楽学科を優秀な成績で中退。在学中に山形交響楽団トランペット奏者に就任。アフィニス文化財団海外研修生として渡米、ボストン交響楽団首席奏者チャールズ・シュリューターに師事、文化庁特別海外研修員としてスイス、ドイツにて古楽器の研究及び奏法をJFマドゥフ、エドワード・タールに師事。2009年より世界10指のトランペットアンサンブルと言われているTen Of The Bestに唯一のアジア人として加わりドイツ、アメリカ、メキシコ、ロシアなど世界各国で公演、2019年にはブーテン大統領公認アーティストとしてフォーミュラ1公式ガラ・コンサートに出演。ソリストとして山形交響楽団の定期演奏会でG・ボッセ、飯森範親の指揮でハイドラントランペット協奏曲、W・ペリートランペット協奏曲(日本初演)、またシヨスタコービッチのピアノとトランペットの協奏曲ではピアニスト河村尚子、金子三勇士と共演。現在山形交響楽団首席奏者の他に山形大学地域教育文化学部客員准教授として後進の指導にあたっている。

永富 さおり <チェロ>

仙台市出身。3歳よりピアノを始め、中学校でホルンを学ぶ。宮城第一女子高等学校数理数科入学と同時にチェロと出会う。震災後NPO法人イエローエンジェルの支援を受け、2013年桐朋学園大学卒業。

国際音楽祭NIPPONマスタークラス、草津夏期国際音楽アカデミーマスタークラス修了。

第45回及川音楽事務所新人オーディション最優秀新人賞第2位。

室内楽や国内オーケストラでの客演など、各地で演奏活動をする傍ら、プログラムノートの執筆も行っている。

三崎屋 義知 <コントラバス>

4歳よりヴァイオリンを始める。その後コントラバスに転向し、桐朋カレッジ・ディプロマコース修了。

同研究科、同オーケストラ・アカデミーを経て、2016年兵庫芸術文化センター管弦楽団にレジデント・プレイヤーとして入団。

2019年1月より山形交響楽団首席コントラバス奏者。これまで本多学、西田直文、渡邊恭一の各氏に師事。